



“通り”

6歳女 インド

幼年美術

590

2017 12月号

発行所 大阪府東大阪市長田中4丁目6-3

ペんてる(株)大阪支社内

全国幼年美術の会 〒577-0013 ☎ (06)6747-1601

発行人 廣富靖海

年間購読料 3,000円 1部300円(送料込み)



第47回
世界児童画展

優秀作品



“おおかみと2ひきのこやぎ”

4歳女 京都府



“お友達と一緒にでこぼこ道を歩いたよ”

5歳男 山口県

巻頭言

不思議な朝顔



小学校の二年生から「昨年育てた朝顔です。大切に育ててください。」と、お手紙付きの種をプレゼントされ、孫の愛の朝顔観察が始まりました。自分の鉢に自分の朝顔が成長していくのが楽しいようです。得意気に鉢を持ち帰り、「愛の朝顔はね、赤紫とピンクと水色だよ。」「えっ！ 何本植えたの？」「一本だよ。私は一本に三色の花をつける朝顔なんて見た事ありません。これは新種かな？」早く見てみたいと心待ちにしていたら「朝顔をお留守番させたらかわいそうだから連れて帰るやね。」と愛は、群馬県から京都へ十時間かけるやつてきました。

陽の当たるベランダで汲み置き水と肥料をやり、朝を待ちました。赤紫の花が三つ。家族揃って観察。「今日はママ色だけ。いつもは愛色のピンクとパパ色の水色なんだけど變化しているではありませんか！」夕方観ると、水色に。下から上に行くほどに色が薄くなっています。こんなに朝顔を観察した事なかったであろうか？ とにかくこれは大発見と疑問を觀察ノートに書き、親もコメントを添えて出したけれども、未だ返事なし。これが愛自身で見つけ出しがれども、未だ返事なし。この「なんで？」「不思議な朝顔！」に出ます。思ひます。そして、私はそれまで見守っていました。見つけ出すことが出来たらいいなと答えはすぐには出なくとも、情報社会の中で、朝顔について、このようなことを知つて、私自身は、もっと早くに思つれば、子供達と一緒に、もっと深い観察が出来たのではないかと、今ども残念に思つています。

全国幼年美術の会
第54回夏季大学報告会



【第2弹】

前号では、編集作業の関係上、全ての原稿を掲載させていたぐことが叶いませんでした。今回は、掲載されなかつた「絵を読む会」の二つの分科会（中国幼美・四国幼美）からの報告を掲載させていただきます。

絵を読む会 担当【中国幼年美術の会】

棄田美穂子の司会にて、黒川泉、門田眞理子からの助言を受ける形で進められた。絵を持参したのは、0歳児2枚・3歳児3枚と少なかつた。後半はパソコンを用いて1学年の絵をみながら会を進めつていった。

(注)

0歳児の作品（T児の2枚）

四月にキッドバス（バスよりも柔らかいので力がいらない、口に入れても大丈夫）で初めて描いた絵。赤と青の点々がある。濃くて太い点と薄くて小さな点が白い四つ切り画用紙のほぼ中央にある。

六月になると、緑のキッドバスで線描きするようになり、その面積も

1年生の作品 「シャボン玉にのつて」・・・シ

助言…子どもが描きたいものをイメージできるよう声かけや支援をする必要がある。まずは、子どもが描いたものを認め、子どもが自分の描いた絵について語れるような環境づくり、場の設定をしていくことが大切である。また、観察力+イメージ力を育てることが必要である。

担当【中国幼年美術の会 2】
絵を読む会

3歳児の作品（A児の3枚
四月に自分の顔、五月に
とタケノコを描いた3枚の
意見交流をした。

点々よりも広い。画用紙の隅に制作時の様子が記してある。助言…乳児と先生が絵を描く時間を共有することが大切である。乳児から離れることなく、描いている乳児のそばで発話や反応を画用紙の隅や裏に書いて記録化していくと、指導の手立てだけでなく、保護者への連絡にもなる。乳児が満足するまで描かすとよい。優しく目を見て褒めてあげる。

ボン玉にのつてどこに行きたいか想像して描く。1年生になつて初めて使う絵の具。シャボン玉の中を絵の具で塗る。

「スイミー」・・・ローラーで海の中や水の流れを描いておく。発泡スチロールトレイで赤い小さい魚を作り、何回もスタンピングすると、あつという間に赤い小さい魚たちの群れができるが、

助言 一つの赤い魚の形だが、向きが少しずつ変わつたり、インクのつけ方が違つたりするのでおもしろい。ローラー遊びやスタンピングなどを取り入れ、変化と工夫のある絵についていい。

3歳児の作品

一週間ごとに描いた家族の絵だった。家庭の事情があり、初めは目や口・鼻などがうまく表現できなかつたが、心が安定すると表現力がのびて、絵から楽しく過ごしている様子が読み取れるようになっていた。

4・5歳児の作品

4・5歳児の作品
アジサイの絵・発表会の絵・夏祭りの絵をみて意見交流をした。絵の具を使って塗ったり表現したりすることは難しいことなので、バスで描いて色塗りをするだけでなく、塗り広げをするのもよいと思うという意見や、絵から楽しい雰囲気が伝わってくる等の意見も出た。

ことができ、発達段階や声かけのしかた、どうしたら楽しく描けるか、その方法を知ることができよかつた。

(記録・北川結希)

※注：先号でもご報告させていたが、事前から、絵をご持参いただく予定の先生、その他の先生、そして学生の人数バランスのとれるよう準備されていたものが、事務的なミスでそれとは全く異なる部屋割が、当日に参加者に伝えられました。こちらの分科会でも、参加者十七名のうち学生が十四名ということでおどろきながら、子どもの絵も集まらない中での「絵を読む会」となりました。そのような状況下に、ご用意いただいていた小学校1学年の子どもたちの絵をみながら語られました。悔やんでも悔やみきれない失態の中、臨機応変に対応いただきましたこと、平に感謝申します。

(編集・羽溪)

絵を読む会

担当【四国幼年美術の会】

全十五名、三十点あまりの絵を基に話し合う機会を得た。
3歳児、4歳児、5歳児と年代を

追う形で持ち寄った絵と、その一枚一枚の絵についての話、そして疑問点や課題とすることについて提供し合った。

担任する子どもさんの表現を様々に集めて、「どんな声かけができたら良かったのか」と疑問を呈する方、そして、一人のお子さんの一年にわたりの作品を続けて見せてくれる方。この場には、子どもの成長する姿をじっと見つめ、慈しむ、熱心な大勢の参加があつた。

集中した議論3点

- 1 作品の出来栄えや、保育者の思いが行き過ぎる場合に、どう子どもに寄り添うか？
- 2 発達段階や個々の特性をどのように受け容れ、認めていけば良いか？
- 3 楽しさを大切に表現できる環境づくりや支援はどうあればよいか？

多様な工夫や苦心が参加者のなかから提供され、にぎやかな討議になりました。

前号のお詫びと訂正

お詫びして訂正させて頂きます。

8ページ2段目2行目

(誤) ↳立命館主学校

(正) ↳立命館小学校

**全国幼年美術の会 運営委員会のご報告
2017年12月2日(土) 龍谷大学セミナーhausともいき荘**

参加者
運営委員 (東北幼美会長) 天形 健
同上 (石川幼美会長) 森田ゆかり
同上 (和歌山幼美会長) 南方 秀昭
同上 (中国幼美会長) 中島 知子
同上 (四国幼美事務局) 篠原 五良
同上 (会長) 廣富 靖海
同上 (副会長) 木代 喜司
同上 (副食) 郡谷義食 奥山 淑子
同上 (三重幼美会長) 谷岡経津子
同上 (編集) 羽溪 矢野 真了

監査
常任委員 同上
同上 (副食) 郡谷義食 奥山 淑子
同上 (三重幼美会長) 谷岡経津子
同上 (編集) 羽溪 矢野 真了

- 8月3日(金)
(運営委員会終了後) 幼美ミーティング
- 8月4日(土)
反省会(予定) (大会終了後
速やかに、短時間で実施)
- 会場・龍谷大学 深草キャンパス
全体会
- 講演・(講師未定) 交渉中
○絵を読む会への助言・未定
- 実技研修
(例年担当支部入れ替え)
○12講座実施
- (54回は12講座実施)
(全国2・東北・石川・三重・滋賀・京都・和歌山・四国・中国・ぺんてる・招聘(幼保、小・大学の先生、美育文化協会派遣講師))
- 絵を読む会
○絵を読む会を140分
(前半70分(5分休憩)後半70分)
終了を16時にする
- 案内状作成について
12教室で実施
- 55回大会へ向けての予定

2、第55回全国幼年美術夏季大学
事務局より
●日程
●大会実施
●2018年8月4日(土)
(大会前日の17時頃予定) 運営委員会

- 4、その他
●機関誌原稿について
- 3、機関誌原稿について
●案内状作成について
●55回大会へ向けての予定
- 絵を読む会
○絵を読む会を140分
(前半70分(5分休憩)後半70分)
終了を16時にする
- 案内状作成について
12教室で実施
- 55回大会へ向けての予定

広告

Discover the best
Pentel にこにこ☆カラーペン

丈夫でなめらか、洗たくでキレイ!

汚れがついても
にこにこ☆シリーズに カラーペンが仲間入り!

Point 1 丈夫なペン先でなめらかな書き心地
Point 2 衣服についても洗たくで落とせます。
Point 3 たっぷり描けてお使い下さい
Point 4 運転タイプで手や紙を汚しにくい
Point 5 キャップを閉め忘れてもかすれにくい

8色/SCS3-8 ¥650+消費税
12色/SCS3-12 ¥900+消費税
品番/SCS3-(色) ¥90+消費税

- ◎ 東北幼美 次年度、開催地を含めて検討中。
- ◎ 東京幼美 次年度、6月最終日曜日、10月最終土曜日に実施予定。
- ◎ 石川幼美 次年度、10月下旬の土曜日に実施予定。
- ◎ 三重幼美 次年度、海の日7月16日(月)実施予定。
- ◎ 滋賀幼美 次年度、8月益明けに実施予定。
- ◎ 京都幼美 次年度、6月30日(土)龍谷大学深草キャンパスにて実施予定。

- ◎ 和歌山幼美 本年度末3月3日(土)和歌山中央幼稚園にて実技研修。次年度、度6月9日(土)和歌山市北コミュニティセンターにて秋田喜代美先生を講師招聘。
- ◎ 四国幼美 次年度、来年度は8月21日から22日に実施予定。
- ◎ 中国幼美 来年度、8月下旬に実施予定
- ◎ 公立の研修会とダブルであります。今年は春号から、特集や(公立の研修会とダブルであります)年に実施予定。



http://www.bikiujp/pocket/index.html

つたえあうをたのしむ
カリキュラム・デザイン
自ら表現する
アート・ニッポン

今年も暮れようとしています。皆様にはどのような年でしたでしょうか? 幼年美術の会にとって、何よりの朗報は、石川幼年美術の会の発足です。本会フェイスブックでは、色々と紹介されていますが、森田ゆかり先生が、今までの地元でのご縁を大切にされてきた広がりとして、地元の白山市保育士会や金城大学で先生のご指導を受けた保育者方を中心とした第一回実践研究会が、去る十一月十一日に開催されました。

幼年美術の会の有力後援団体、公益財団法人美育文化協会の季刊誌『美育文化ポケット』16号(2017年No.4・冬号)が刊行されました。本年は春号から、特集やそれに基づくカリキュラム紹介で、それを楽しむ→みたてを楽しむ→そぞろを楽しむ、と続いてきました。子どもの造形表現の展開過程で大目にしたいことやその環境について、紹介されてきました。そしてこの度の冬号では、つたえあうを楽しむ、を特集とされています。要領や指針に示されるところですが、ややもすると表現を個の中で完結させていることへの反省としても読める、深い内容です。

ご購読のお申し込みは、左記まで。
http://www.bikiujp/pocket/index.html

「子どもの絵を読む」なくして、幼美を語る資格なし。しかし、その背景が教育・保育において種々議論を重ねていかねばならない問題も山積みです。ますますの輪の広がりとともに、その深まりに努めていきたいのです。(羽溪)

全国幼美でも大変お世話になる、大橋功(岡山大学)先生のご講演、べんびーの教育普及の大塚義孝先生による実技指導、そして、幼美の幼美たる所以であり、森田先生もこれだけは絶対に外せないと強い思いのもと「絵を読む会」が実施されました。それに際し、「絵を読む会」を参加者に理解・体感頂くためにと、その招きに応じられた京都幼美の奥山淑子会長をはじめ6名の先生方や、滋賀幼美の黄瀬重義会長が馳せ参じられました。

絵を読む会は、今回初めての方はほとんどで、絵の善し悪しの視点からではなく、絵を通して、子どもの育ちや姿や思いを子どもに関わる者が、学び感づくことを旨とすることに驚きと戸惑いを持ちながらも、学び体験いただけたのではないでしょうか?

あとがき



ぽけっと通信